

< 取材のご案内 >

国際映画祭を受賞した映画「くじらびと」監督が講義を開催**捕鯨を題材に人間の生き方を問う映画制作の舞台裏を公開**

～当日は日本映画撮影監督協会によるオンライン授賞式も実施～

【日時】2022年1月5日（水）14:50～17:40（報道受付13:20～）

【場所】大和大学（大阪府吹田市片山町2-5-1）

【取材申込フォーム】 <https://forms.gle/HyVz5bZBfc6AQYp3A>

取材申込フォーム[QRコード版]▶□



大和大学（所在地：大阪府吹田市、学長：田野瀬 良太郎）は、2021年11月5日から始まったグアム国際映画祭で最優秀ドキュメンタリー賞を受賞した映画「くじらびと」の監督・石川梵氏をお招きし、大学の授業として講義「自然との共生インドネシアの伝統捕鯨をとらえたドキュメンタリー作品『くじらびと』の現場からの報告（一般財団法人 日本鯨類研究所協賛）」を2022年1月5日（水）に開催いたします。同作品は、日本映画撮影監督協会が開催している第30回JSC賞を受賞しており、講義開催当日は、大和大学で石川氏が学生に向けて講義を行ったあと、オンラインで同協会の授賞式に登壇し表彰状を授与されます。

つきましては、ご多用とは存じますが、ご取材賜りますようお願い申し上げます。なお、誠に勝手ではございますが、上記参加フォームにて【1月4日（月）17時】までにご返信くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

< 実施概要 >

【開催日程】2022年1月5日（水）14:50～17:40（報道受付13:20～）

【開催場所】大和大学（大阪府吹田市片山町2-5-1）

【登壇者】映画「くじらびと」監督 石川 梵 氏
大和大学 教授 佐々木正明

【内容】監督による講義／日本映画撮影監督協会による表彰式／個別取材（事前申込制）

【当日スケジュール】13:20～14:50 報道受付開始（会場：大和大学）

14:50～16:20 大和大学社会学部で石川氏が講義（会場：大和大学）

16:00～ 東京で日本映画撮影監督協会の授賞式がスタート

17:00～ 授業終了後の石川氏がオンラインで日本映画撮影監督協会の授賞式に参加
同協会理事が表彰を授与（会場：大和大学）

17:40～ 個別取材対応

<取材留意事項>

- ※本取材案内は、大和大学での取材となり、オンライン授賞式はスクリーンで視聴いただけます。
- ※本イベントは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、取材枠を減らしてのご案内となります。
- ※取材枠数の関係上、先着順のご案内を行っております。
- ※他媒体への本案内状の転送はご遠慮下さい。ご取材は事前にご案内した媒体様に限らせていただきます。
- ※本会場で撮影された映像・写真は、本発表会内容の報道以外でのご使用はお控えください。
- ※当日の状況によっては、変動する場合がございます。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

大和大学 PR事務局（株式会社マテリアル内）

TEL：06-6456-4960/FAX：06-6456-4961 mail：osaka@materialpr.jp

担当：佐藤（070-3621-8689）、片岡（070-3607-2299）

< 監督プロフィール >

石川 梵 (いしかわ ぼん) 氏



写真家として30年間に渡り、世界7大陸で戦場から生存捕鯨まで大地と祈りをテーマに撮影。その経験を生かし、2015年からドキュメンタリー映画監督、撮影監督として世界をフィールドに映画制作活動を行う。

< 作品歴 >

ネパール大地震をテーマにしたドキュメンタリー映画「世界でいちばん美しい村」(2017)

< 監督、撮影 >

インドネシアの生存捕鯨を描いた「くじらびと」(2021) 監督、撮影。(Guam国際映画祭最優秀ドキュメンタリー賞、観客賞受賞、CFK国際映画祭ベストドローン映画賞他受賞多数)

テレビでは、共同演出、海上撮影で参加した関西テレビ「巨鯨に挑む」は97年のATPDドキュメンタリー賞を受賞。

写真家としては、写真集「海人」で日本写真家協会新人賞、講談社出版文化賞。「The Days After 東日本大震災の記憶」で日本写真協会作家賞。他にも「伊勢神宮、遷宮とその秘儀」など著書多数。

< 映画「くじらびと」とは >



2021年9月3日 劇場公開

配給/アンプラグド 制作/Bonfilm

監督・撮影/石川梵 第2撮影/山本直洋 編集/熱海鋼一 音響/帆刈幸雄

youtube予告URL : <https://youtu.be/2D0SU16id2Q>

インドネシア・ラマレラ村で、伝統の捕鯨を400年間続けながら暮らす人々を捉えたドキュメンタリー。インドネシアの小さな島にある人口1500人のラマレラ村。住民たちは互いの和を何よりも大切にし、自然の恵みに感謝の祈りを捧げ、言い伝えを守りながら生きている。

その中で、「ラマファ」と呼ばれるクジラの銚打ち漁師たちは最も尊敬される存在だ。彼らは手造りの小さな舟と銚1本で、命を懸けて巨大なマッコウクジラに挑む。2018年、ラマファのひとりであるベンジャミンが捕鯨中に命を落とした。人々が深い悲しみに暮れる中、舟造りの名人である父イグナシウスは家族の結束の象徴として、伝統の舟を作り直すことを決意。

1年後、彼らの舟はまだ見ぬクジラを目指して大海へと漕ぎ出す。ライフワークとして30年間ラマレラ村の人々を追い続けてきた写真家・映像作家の石川梵監督が、2017年から19年までに撮影した映像を基に制作。自然とともに生きるラマレラ村の人々の日常を、繊細かつ臨場感あふれる映像で描き出す。優れた撮影技術とともに、テーマと作品の狙いに貢献していることが評価された。

< グラム国際映画祭について >

西太平洋地域で唯一、2011年から毎年開催される米国の映画祭。主に米国、アジア、西太平洋諸国から多くの映画が出品され、国際的な評価も高い。

< 日本映画撮影監督協会 JSC賞について >

劇場用映画以外の映像作品で撮影技術の作品への貢献度を評価している。 <https://x.gd/oBUcT>

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

大和大学 PR事務局 (株式会社マテリアル内)

TEL : 06-6456-4960/FAX : 06-6456-4961 mail : osaka@materialpr.jp

担当 : 佐藤 (070-3621-8689)、片岡 (070-3607-2299)